

## 町田市公共施設に関するアンケート調査

～現在、町田市では、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための基本的な方針を示す「(仮称)町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」の策定を進めています～

### ●アンケート調査ご協力をお願い

市民の皆様には、平素から市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

町田市では、人口減少や少子高齢化などの時代の変化に対応し、必要な公共サービスを維持・向上させていくために、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための基本的な方針を示す「(仮称)町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」の策定を進めています。そこで、市民の皆さまからのご意見をお伺いし、今後の町田市の取組みの参考とさせていただきたく、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2015年9月  
町田市長 石坂 丈一

- 本アンケートは町田市にお住まいの15歳以上の方を対象に、無作為に3,000人の方を抽出し送付しております。
- 本アンケート調査は**無記名**です。お名前を記載する必要はありません。お答えいただいた内容は、無記名の調査票のみ統計的に処理するため、記入者が特定されることはありません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。

**[ご回答の期限]**  
2015年 10月 5日(月) まで

【お問い合わせ先】



町田市未来づくり研究所

(町田市政策経営部企画政策課内)

☎042-724-2103

〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22

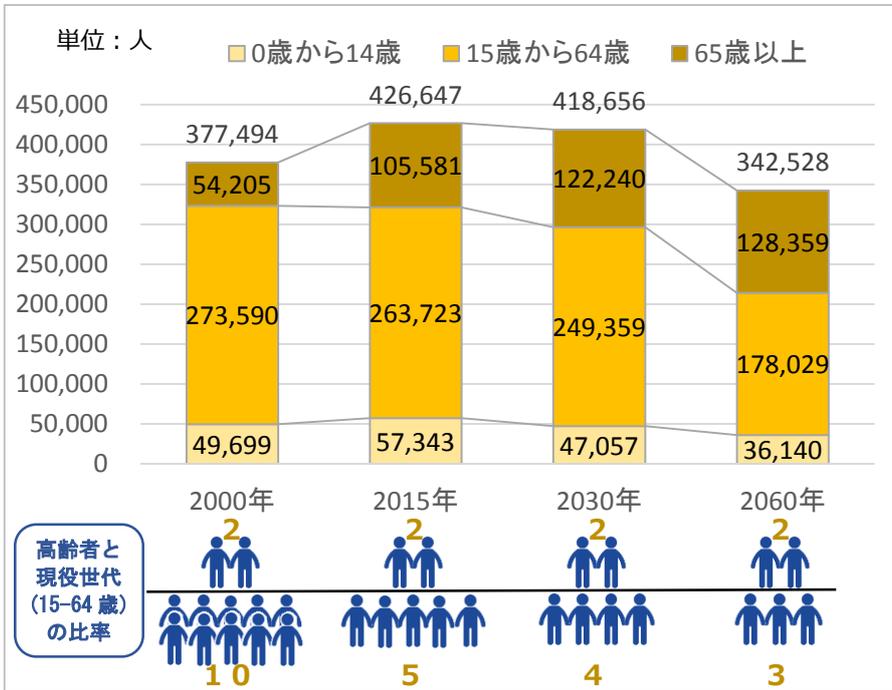
<http://www.city.machida.tokyo.jp>

[トップページ](#) > [市政情報](#) > [町田市未来づくり研究所](#)

— アンケートの前に町田市の状況をお伝えします —

**1. 町田市の人口と高齢化**

《町田市の人口構成の変化 (一部推計)》



出典：町田市将来人口推計 (町田市未来づくり研究所 2014 年度)

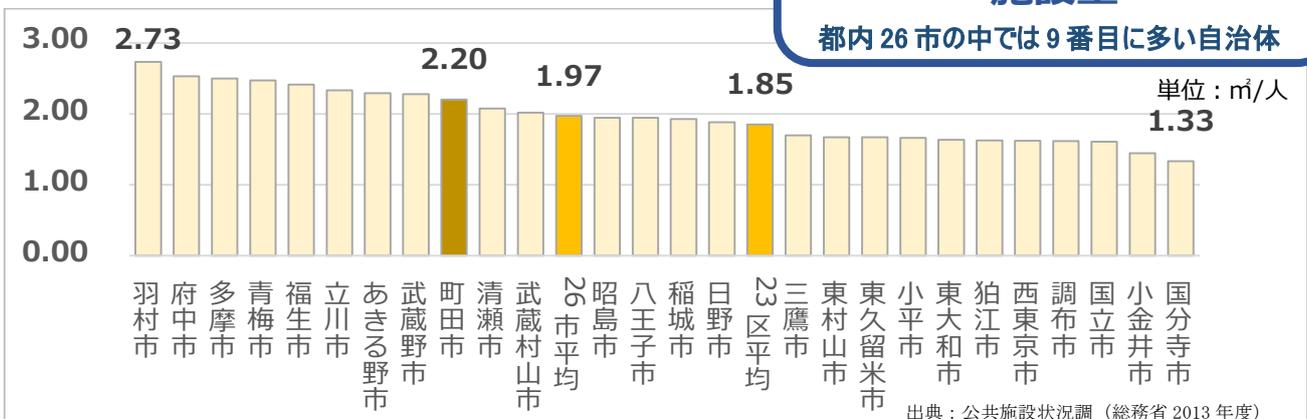
人口が減少し、  
高齢者の割合が  
増加

このような状況は  
社会保障費の増大や  
税収の減少  
につながります。

これまで増加を続けてきた町田市の人口も今後は減少することが予測されています。また、その構成を見ると、65歳以上の人口は増加し続け、高齢者の比率がどんどん高まっていることが分かります。市税収入の中心となる現役世代と将来の町田を担う子どもたちが減少する一方、社会保障費の増大が見込まれることから、町田市はこれまで以上に**厳しい財政状況を迎えていく**ことが予測されます。

**2. 町田市の施設量**

《市民一人あたりの公共施設延床面積》



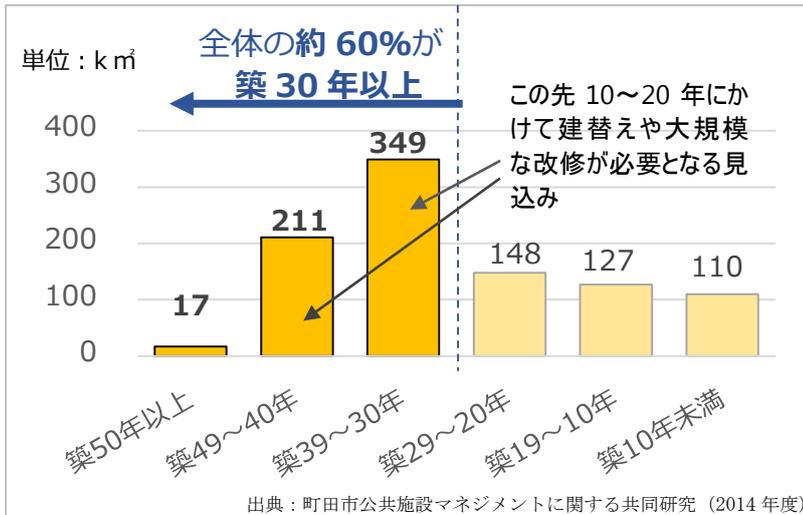
出典：公共施設状況調 (総務省 2013 年度)

都内自治体の平均より多い  
施設量  
都内 26 市の中では 9 番目に多い自治体

町田市の施設量は東京都の他自治体と比較すると多い傾向にあります。したがって、**平均的な市よりも多くの費用が施設の維持にかかる**ことになるため、経費捻出の工夫もより一層求められます。

### 3. 町田市の施設老朽化

《築年数別の公共施設延床面積》



**老朽化が進み、  
近い将来、建替えや  
大規模改修を必要と  
する施設が多数存在**

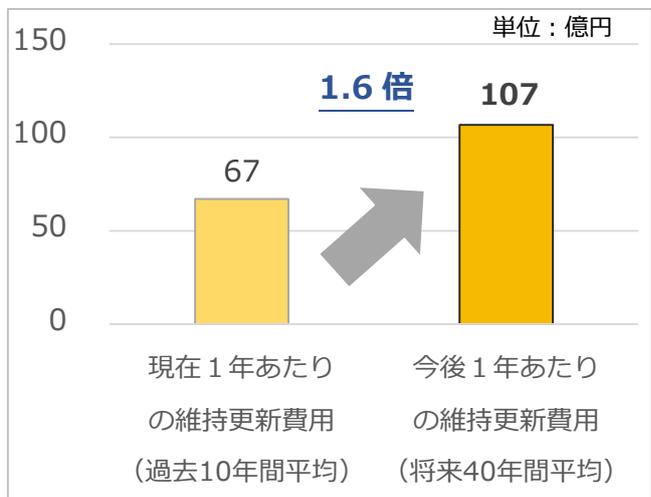
高度経済成長期の急激な人口の増加や社会環境の変化に対応するため、1960年代後半から80年代前半にかけて学校教育施設を中心に多くの公共施設を整備しています。一般的に施設の寿命は50~60年とされていますので、**近い将来に建替えや大規模改修をしなければならない施設が多くあること**になります。

### 4. 町田市の施設維持経費

**今ある公共施設を全て  
維持し続けるためには  
さらに多くの費用が必要**

施設以外に必要な経費も増えていくことを考えると、**とても厳しい財政状況**といえます。

《将来の公共施設維持更新費用（推計）》



現在の公共施設に費やしている平均維持経費は年間約67億円です。しかし、「3.町田市の施設老朽化」のとおり、これから建替えや改修時期を迎える施設が多数あることを考慮すると、今ある施設全てをこのまま維持した場合、今後40年間の平均維持費用は年間約107億円、**現在の約1.6倍の費用が必要**となります。

**将来の町田を担う世代に負担を背負わせないためにも、  
公共施設の今後のあり方を一緒に考えていきましょう。  
～次ページからのアンケートにご協力ください～**

## — 以下質問にご回答ください —

回答は、アンケートをお送りしたお名前のご本人がお答えください。ご本人が長期不在等で回答できない場合は、ご回答いただく必要はありません。

回答は、あてはまるものに「○」をつける形式と、あてはまる番号を選び、解答欄に記入していただく形式と、自由に回答を記入していただく形式があります。

「その他」の（ ）内には、内容をできるだけ具体的にお書きください。

回答に迷う場合は、あなたのお考えにできるだけ近いものをお選びください。

公共施設について、お伺いします。

**問1** あなたは町田市の施設をどの程度利用していますか？（概ね最近1年間程度の状況でお答えください。）「まず利用しない」という方は、その理由をお聞かせください。

施設分類ごとに、該当する番号を記入してください。

※記入する数字は5ページ上部の「問1 回答用選択肢」から選んでください。

分類	施設例	A 利用頻度 (1～5から選択)	B 利用しない理由 (①～⑥から選択)
市民活動施設	コミュニティセンター、生涯学習センター、市民センター(会議室)		
ホール施設	市民ホール、ポプリホール		
社会教育施設	図書館		
スポーツ施設	総合体育館、陸上競技場、市民プール		
高齢者施設	デイサービス、ふれあい館		
子育て支援施設	子育て支援センター、こどもセンター、こどもクラブ		
医療・保健施設	保健所、健康福社会館		
文化・観光施設	文学館、博物館、国際版画美術館、小野路宿里山交流館		
レクリエーション施設	大地沢青少年センター、ひなた村、自然休暇村等		
教育施設	小学校・中学校（体育館・温水プールなど一般開放の利用）		
庁舎等	市庁舎、市民センター(行政窓口)、駅前連絡所等		

[問 1 回答用選択肢]

A 利用頻度 (回答は一つだけ)	B 利用しない理由 A 利用頻度で「1. まず利用しない」を選択した場合のみ回答 (回答はいくつでも)
1 まず利用しない	① 利用する必要がない
2 1年に数回利用する	② 類似の民間施設や他市施設を利用している
3 半年に数回利用する	③ 施設の利用料や使用料が高い
4 月に数回利用する	④ 開館日時が合わない
5 週に数回利用する	⑤ 施設の存在を知らない
	⑥ その他の理由

**問 2** 近い将来、少子高齢化や人口減少が進みこれまでに経験のない厳しい財政状況を迎えていくことが見込まれています。また、人口構成や社会状況の変化により、求められるサービスや量に変化していくことも想定されます。そこで、将来を見据えて公共施設のあり方を見直していく（町田市全体の施設総量を削減することも含む）ことについてどのようにお考えですか？

(あなたの考えに一番近いものをひとつ選び、数字に○をつけてください。)

- 1 積極的に見直すべきである ⇒問 4 へ
- 2 将来の状況を考えると見直すことはやむを得ない ⇒問 4 へ
- 3 見直すべきではない（公共施設は今までどおり維持すべき） ⇒問 3 へ
- 4 見直すべきではない（公共施設はもっと増やすべき） ⇒問 3 へ

**問 3** 問 2 で「3. 見直すべきではない（公共施設は今までどおり維持すべき）」または「4. 見直すべきではない（公共施設はもっと増やすべき）」を選択された方にお伺いします。

限られた財源の中で公共施設を今までどおり維持または増やすため、今後どのようにしていくべきとお考えですか？

(あなたの考えに合うものを選び、数字に○をつけてください。○はいくつでも結構です。)

- 1 他の公共サービスを削減して財源を確保する
- 2 増税して財源を確保する
- 3 地方債を発行するなど借金をして財源を確保する
- 4 施設の利用料や使用料を高くして財源を確保する
- 5 その他 ( )

⇒問 4 へ

**問4** 施設の建替えや大規模な改修にかかる費用を少なくしていく方法として、日ごろからの施設メンテナンスを心がけることや、施設を長持ちさせるための投資を事前にしっかりと行っていく「長寿命化」という考え方があります。この「長寿命化」という方法を活用して今ある施設をできるだけ長く使っていくという考え方についてどうお考えですか？

(あなたの考えに一番近いものをひとつ選び、数字に○をつけてください。)

1 賛成である	2 概ね賛成である	3 やや反対である	4 反対である	5 わからない
---------	-----------	-----------	---------	---------

**問5** 市が担っていた公共サービスの一部を民間の事業者やNPO、地域住民等が担うことで、これまでほど税金を投入しなくても、これまで以上のサービスを提供したり、これまで以上にもっと身近な場所や便利な時間に公共サービスが受けられるようにしていく方法として、「官民連携」という考え方があります。この「官民連携」という方法を活用して必要なサービスをより効果的・効率的に提供するという考え方についてどうお考えですか？

(あなたの考えに一番近いものをひとつ選び、数字に○をつけてください。)

1 賛成である	2 概ね賛成である	3 やや反対である	4 反対である	5 わからない
---------	-----------	-----------	---------	---------

**問6** 施設にかかる維持費用を削減する方法として、今ある施設の余剰スペースを活用し、今までは一つのサービスしか行っていなかった施設で複数のサービスを提供できるようにする「複合化」「多機能化」という手法があります。今後、この「複合化」や「多機能化」という方法をうまく活用して施設の総量を減らしていくという考え方についてどうお考えですか？

(あなたの考えに一番近いものをひとつ選び、数字に○をつけてください。)

1 賛成である	2 概ね賛成である	3 やや反対である	4 反対である	5 わからない
---------	-----------	-----------	---------	---------

**問7** 問6の「複合化」や「多機能化」といった手法で施設を再編していく場合に、みなさんが日常的に利用するような身近にあることが望ましいサービスは地域に残す一方、特別な機会や特別な目的がある時に利用するような一般的に利用頻度が低い施設は、利便性の良い中核的な地域(例：町田駅周辺など)に集約していくという考え方があります。このような考え方で施設の再編を進めていくことについてどうお考えですか？

(あなたの考えに一番近いものをひとつ選び、数字に○をつけてください。)

1 賛成である	2 概ね賛成である	3 やや反対である	4 反対である	5 わからない
---------	-----------	-----------	---------	---------



あなたご自身のことについてお伺います。 それぞれ、数字にひとつずつ〇をつけてください。

**問 11** あなたの性別をお聞かせください。

- 1 男性 2 女性

**問 12** あなたの年齢をお聞かせください。

- 1 15～19 歳    2 20～24 歳    3 25～29 歳    4 30～34 歳    5 35～39 歳  
6 40～44 歳    7 45～49 歳    8 50～54 歳    9 55～59 歳    10 60～64 歳  
11 65～69 歳    12 70～74 歳    13 75 歳以上

**問 13** あなたのお住まい（町名）をお聞かせください。

（50音順）

- |         |         |          |         |         |
|---------|---------|----------|---------|---------|
| 1 相原町   | 2 旭町    | 3 大蔵町    | 4 小川    | 5 小野路町  |
| 6 小山ヶ丘  | 7 小山田桜台 | 8 小山町    | 9 金井    | 10 金井町  |
| 11 金森   | 12 金森東  | 13 上小山田町 | 14 木曽西  | 15 木曽東  |
| 16 木曽町  | 17 高ヶ坂  | 18 下小山田町 | 19 真光寺  | 20 真光寺町 |
| 21 函師町  | 22 忠生   | 23 玉川学園  | 24 つくし野 | 25 鶴川   |
| 26 鶴間   | 27 常盤町  | 28 中町    | 29 成瀬   | 30 成瀬が丘 |
| 31 成瀬台  | 32 西成瀬  | 33 根岸    | 34 根岸町  | 35 能ヶ谷  |
| 36 野津田町 | 37 原町田  | 38 東玉川学園 | 39 広袴   | 40 広袴町  |
| 41 本町田  | 42 南大谷  | 43 南つくし野 | 44 南成瀬  | 45 三輪町  |
| 46 三輪緑山 | 47 森野   | 48 薬師台   | 49 矢部町  | 50 山崎   |
| 51 山崎町  |         |          |         |         |

**問 14** あなたが普段最もよく利用する駅をお聞かせください。

- |             |               |          |           |
|-------------|---------------|----------|-----------|
| 1 町田駅（小田急線） | 2 町田駅（JR 横浜線） | 3 玉川学園前駅 | 4 鶴川駅     |
| 5 柿生駅       | 6 多摩センター駅     | 7 唐木田駅   | 8 多摩境駅    |
| 9 橋本駅       | 10 相原駅        | 11 淵野辺駅  | 12 古淵駅    |
| 13 成瀬駅      | 14 こどもの国駅     | 15 つくし野駅 | 16 すずかけ台駅 |
| 17 南町田駅     | 18 鉄道は使わない    | 19 その他（  | 駅）        |

**問 15** あなたの職業をお聞かせください。

- |                           |               |            |
|---------------------------|---------------|------------|
| 1 常勤                      | 2 非常勤         | 3 農業、林業、漁業 |
| 4 商業、工業、サービス業その他自由業などの自営業 | 5 家事専業（主婦・主夫） |            |
| 6 学生                      | 7 その他（        | 8 無職       |

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて **2015 年 10 月 5 日（月）** までにご投函ください。アンケート調査票や封筒に名前等を記載する必要はありません。